

## 福祉タクシー助成事業（福祉タクシー券）の見直しについて

### 1 概要

福祉タクシー助成事業（以下、「福祉タクシー券」）は、タクシーの利用料金を助成する事業で、都内のほとんどの自治体で実施されている事業であるが、対象とする障害者の範囲、金額、助成方法は様々な状況である。武蔵野市は、助成する範囲が非常に広く、初乗り料金無料券であることが特徴である。市では、身近な外出の機会を促進するために、初乗り料金無料という制度を取ってきたが、来年度にも、初乗り料金が大幅に値下げされることが予想されるため、現行制度の見直しを検討する必要がある。

### 2 タクシー初乗り料金の値下げについて

現在、都内の 65% の事業者が、初乗り 730 円の料金を来春から 410 円に値下げする申請を行っており、7 月 4 日までに 7 割を超える事業者から申請が出れば、値下げが認可される可能性が高い状況にある。

### 3 値下げされた場合の福祉タクシー券の助成額について

現行       ： 730 円 × 年間 60 枚   =   最大 43,800 円  
値下げ後： 410 円 × 年間 60 枚   =   最大 24,600 円

### 4 金額チケットにした場合の課題

例えば、500 円券のような金額チケットにした場合、一度に複数枚の利用が可能であり、利用率が大幅に上昇することが予想されるため、最大金額を同様に設定すると、予算額の大幅増が見込まれるため、利用率を考慮した金額設定が必要である。ちなみに、三鷹市が平成 24 年度に同様の見直しを実施したが、券の支給総額も変更（減額）したため、総予算としてはやや減少した。

### 5 今後の方向性

1 回 410 円分の助成では外出促進効果が減少するため、金額チケット方式導入の方向で検討を行う。支給総額については、同方式を実施している自治体の支給額や利用額を調査したうえで検討したい。

## 参 考

### 都心のタクシー初乗り運賃、来年 4 月にも 4 0 0 円台実現か

TBS5 月 25 日（水）5 時 21 分

東京都心でのタクシーの初乗り運賃について、都内の 6 5 %の事業者が「4 0 0 円台」に引き下げる申請を出したことがわかりました。

タクシーの初乗り運賃をめぐっては、先月 5 日、タクシー会社の「日本交通」が東京 2 3 区内などで現行の「2 キロまで 7 3 0 円」から「1. 0 5 9 キロで 4 1 0 円」に引き下げる申請を行いました。

申請が認可されるには、最初の申請から 3 か月以内に 7 割を超えるタクシー事業者が同じような申請を行い、その後、国土交通省の審査などを受けることが必要ですが、現時点で都内を営業地域とする事業者の 6 5 %が 4 0 0 円台に引き下げる申請を出していることがわかりました。

申請の締め切りは 7 月 4 日で、認可されれば早くて来年 4 月ごろ、初乗り運賃 4 0 0 円台が実現する見通しです。(24 日 21:03)

[http://news.biglobe.ne.jp/domestic/0525/tbs\\_160525\\_9438279387.html](http://news.biglobe.ne.jp/domestic/0525/tbs_160525_9438279387.html) より引用